



世田谷区は区内および隣接に17の大学・学部があります。各大学の専門性や特色を活かし、区内の様々な課題に区や地域と協働して取り組んでいます。ここでは日本大学三軒茶屋キャンパスの紹介と地域と協力した取り組みをご紹介します！

日本大学三軒茶屋キャンパス

〒154-0002 東京都世田谷区下馬3-34-1

- ・東急東横線「祐天寺」駅から東急バスで10分「日大前」下車
- ・東急田園都市線・世田谷線「三軒茶屋」駅下車、徒歩10分

日本大学危機管理学部HP https://www.nihon-u.ac.jp/risk_management/

日本大学スポーツ科学部HP https://www.nihon-u.ac.jp/sports_sciences/

2016年4月に開設された日本大学三軒茶屋キャンパスは「危機管理学部」と「スポーツ科学部」の2学部が設置されています。

危機管理学部では、日本や世界で発生する様々な「危機」から社会を守るための方法や制度を研究し、あらゆる危機に対応する「オールハザード・アプローチ」により、リーガルマインドとリスクリテラシーを併せ持つ人材を養成します。

スポーツ科学部では、スポーツに関連する科学的知識に基づく学識・専門技能の修得を根底に置きつつ、常に時代に即した必要な知識を獲得し、その知識を生かして現代の競技スポーツが抱える課題に対し、様々な方法を用いて解決に導くことができる人材を養成します。

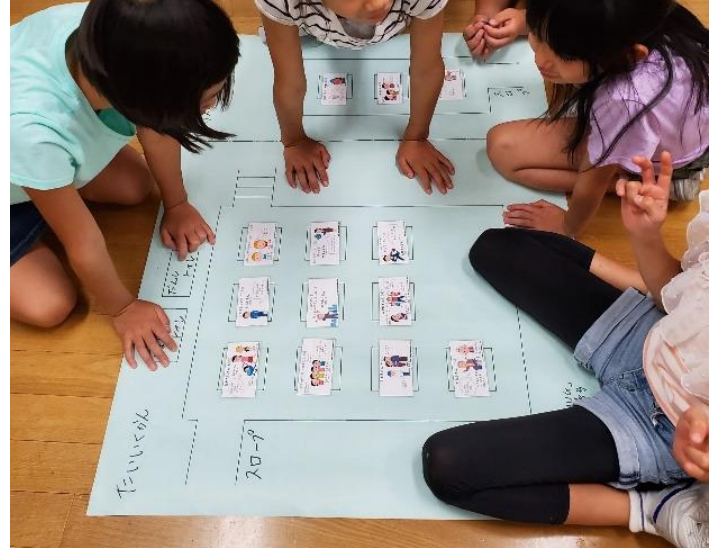


危機管理学部の地域連携紹介

体験型防災教育で「リスクコミュニケーション」

近隣小学校でゼミの学生とともに体験型の防災教育を行い、リスクコミュニケーションを実践！

避難所運営ゲームを小学生向けにアレンジした「HUG※」を使用して、避難者の年齢、性別、国籍、各人が抱えたカードを、避難所の体育館や保健室に見立てた平面図に配置したり、発生する出来事にどう対応するかを子供たちは模擬体験します。その前後で防災に対する意識や知識の変化について調べたり、HUGを体験しない群と比較したりして、効果測定をしています。



小学生向けのHUGが防災意識の向上に寄与することが認められたことから、今後は世田谷区全域の小学校で、実践していきたいと考えています。

※HUG：H(hinanzyo:避難所)、U(unei:運営)、G(game:ゲーム)の頭文字をとったもの

砧地区のイベント「防災フェスタ」



※写真は2019年実施の様子

スタッフとして震災時に優先的につながる公衆電話の使い方を紹介！

新型コロナの影響で、対面での防災教育等ができなくなっていることから、今後は非接触でできることに重点を置き、動画配信やHUGをアプリ化してオンラインで行うといったことにも、危機管理学部は取り組んでいます。公衆電話の使い方を紹介する動画も制作し、馴染みが薄い子供たちに伝えるための活動もスタートしています。